

文書番号：BII20250012

社会の脱炭素に貢献する

MISSION NET ZERO

地域脱炭素フォーラム2025 in 広島

2025/10/22

三菱重工業株式会社
カーボンニュートラル推進室

三菱重工グループのカーボンニュートラル宣言 「MISSION NET ZERO」



ポイントは以下の3点です

- ① 事業活動に係る全ての地球温暖化ガスをネットゼロにする
- ② 2040年迄に達成する
- ③ CCUS事業等の削減貢献を含む

目標年	当社グループの CO ₂ 排出削減 Scope1,2	バリューチェーン全体を通じた 社会への貢献 Scope3+ CCUS削減貢献
2030年	▲50% (2014年比)	▲50% (2019年比)
2040年	Net Zero	Net Zero

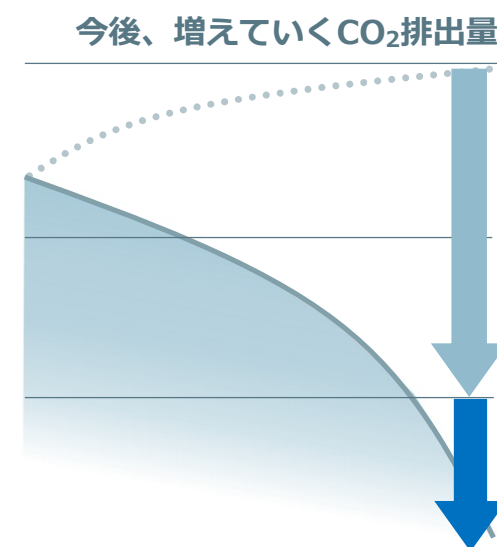
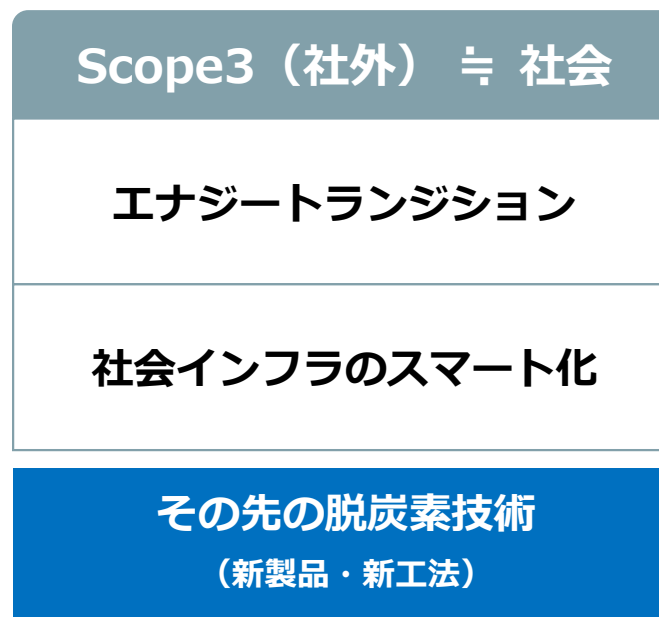
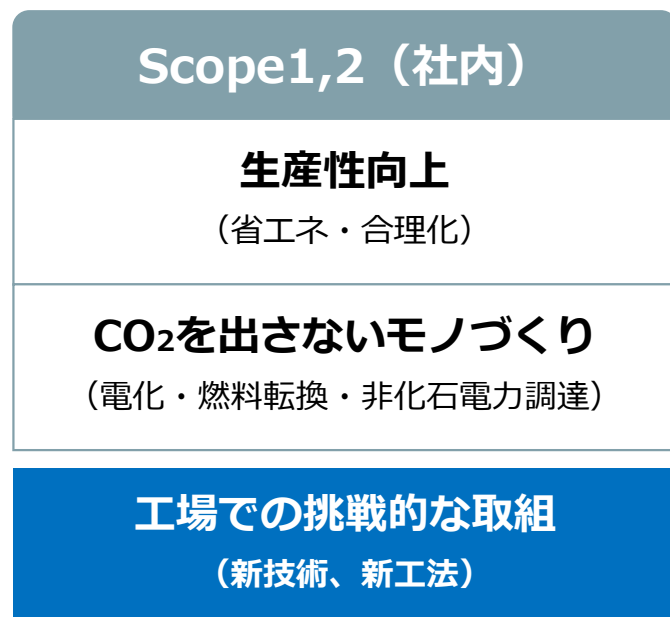
※ Scope 1,2 : 算出基準は、GHGプロトコルに準じる。

Scope 3 : 算出基準は、GHGプロトコルに準じる。但しこれに独自指標のCCUSによる削減貢献分を加味。
当社のGHG排出の内、CO₂排出が99%を占めるため、シンプルにCO₂削減を目標としているものです。

GHG: 温室効果ガス (Greenhouse Gas) CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

MISSION NET ZEROの位置づけ

MISSION NET ZERO = 三菱重工グループの統合成長戦略



カーボンニュートラルを事業として取組、
事業を通じて桁違いの社会貢献を実現

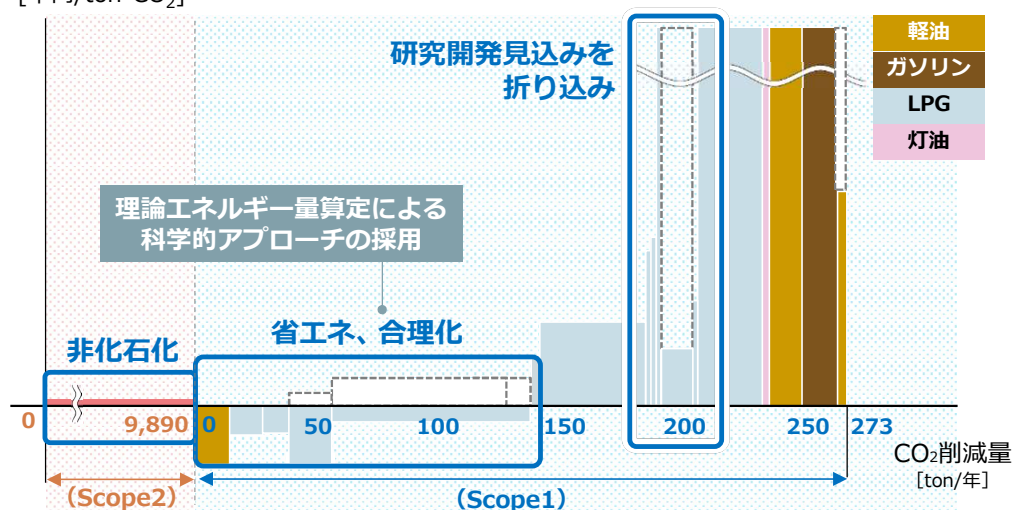
工場のCO₂排出（Scope1,2）削減をリアルに進めるロールモデル

これまで（～2024年度）

これから（2025年度～）

MACカーブによるCO₂排出状況及び対策の見える化

CO₂削減単価
[千円/ton-CO₂]



CO₂排出（Scope1,2）削減の 対策

省エネ・合理化、電化・燃料転換、非化石電力の導入等

三菱和田沖太陽光発電所



- システム出力 : 12MW (AC)
- 運転開始 : 2024年3月1日
- 敷地面積 : 143,815m²
- 予想発電量 : 20.2GWh/年

CO₂排出削減対策の新技术

実証導入

熱×電力、需要×供給を
かしこくつなぐ

ノウハウや技術を
全社に展開

MACカーブ（Marginal Abatement Cost カーブ）：個々のCO₂排出削減対策の「CO₂削減効果」と「削減コスト」をグラフ化したもので、当社は2022年度から工場の脱炭素ロードマップ作製に活用

MACカーブに基づいて将来の削減技術・対策を集積、実証と共創の拠点に

熱をかしこく使う

太陽熱やヒートポンプ技術を活用し、
未利用熱を最大限活用する

廃熱

データ
センタ

蓄電池

データ処理や蓄電池を活用し、
太陽光の電力を最大限活用する

電力をかしこく使う**電力と熱**の使い方を変える

省エネ・合理化、操業調整等で電力と熱の使い方を変える

熱 × 電力
需要 × 供給
かしこくつなぐ
(工場ユーティリティマネジメント)

**電力・熱
需要**

MACカーブ (Marginal Abatement Cost カーブ) : 個々のCO₂排出削減対策の「CO₂削減効果」と「削減コスト」をグラフ化したもので、当社は2022年度から工場の脱炭素ロードマップ作製に活用

三原は、MISSION NET ZEROのロールモデル工場に進化

脱低炭素化を
実現する
技 術

集積

CARBON NEUTRAL TRANSITION HUB MIHARA

拠点

脱炭素に
挑戦する
共 創



実践

脱炭素推進と
事業成長が
相互に貢献



MOVE THE WORLD FORWARD  RD MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

